



令和7年9月30日
日本下水道事業団

建設工事入札公告時の「360度画像データ」公開試行を開始
～入札参加説明書の拡充による現地把握の強化～

日本下水道事業団（JS）は、建設工事の入札公告時に入札参加者が現地の状況を正確かつ効率的に把握できるよう、現地の360度画像データを公開する試行を開始しました。

令和6年度より、JSが発注する実施設計業務において、現地調査時に360度カメラでの撮影を行い、その画像はJSが指定するクラウドサービスへ保存する取り組みを実施しています。

今回、委託団体の同意が得られた工事を対象に、入札公告時に希望する入札参加者が現地を確認できる手段として、360度画像データを閲覧できる試行を実施します。既に一部の工事では試行を始めていますが、対象工事は入札公告に「360度画像データ公開試行対象工事」と明記し、入札参加説明書に閲覧方法等の詳細を記載します。これにより、入札参加者は現地に行かなくても現地の状況をより正確に把握でき、見積もり積算や施工計画等の精度向上が期待できます。

今年度は、約30件の工事で試行を実施します。工事入札時の情報提供の質をさらに高めることで、より多くの企業が参加しやすい環境を整備するとともに、入札不調・不落の抑制につながることを期待しています。

<問い合わせ先>

日本下水道事業団
DX戦略部建設DX課長 及川 宗
TEL：03-6892-2019
FAX：03-5805-1828
E-mail：oikawa@jswa.go.jp